

JID NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1993 5・6

目 次

- 1993年度事業展開にむけて…………… 1
- 第25回通常総会報告…………… 2
- 「'92年度協会賞」高浜和秀、伴充弘両氏に …… 3
- 総会及び協会賞受賞記念パーティー開催される …… 5
- '92・第5回及び第6回理事会報告 …… 5
- 平成5・6年度選考委員選挙開票結果報告 …… 12
- 会員名簿のリニューアル、1993～1994年版を発行 …… 13
- 本部委員会の動き…………… 13
 - ・ I F I '95名古屋開催に向けての経過概要 …… 13
 - ・教育・研究委員会活動状況と今後の計画…………… 14
 - ・事業局移転に伴うオフィスプランニング進行中…………… 14
- 事業支部の働き…………… 15
 - ・中部事業部活動報告他…………… 15
 - ・関西事業部の活動状況…………… 15
 - ・九州事業部の近況と活動計画…………… 16
- 「I F I」からのお知らせ…………… 17
- 「第20回国井喜太郎産業工芸賞」を受賞して …… 19
- デザインコンペ1題とコンベンション2件…………… 20
- 通産省検査デザイン室長人事異動…………… 20
- 関連団体の動き…………… 20
- 会員の消息…………… 21
- 新入会員の紹介…………… 24
- 会員の異動…………… 28
- 事務局短信…………… 30

〔 I F I '95名古屋〕メインテーマ

インテリア新しいうねりの創造
INTERIORS : NEXT WAVE

<1993年度事業展開にむけて>

理事長 長 岡 貞 夫

去る5月27日に開催された1993年度通常総会はおかげ様で無事終了し、新しい年度にむけて本格的に活動を開始することになりました。

本年度の事業の主要なものとしては、IFI95関連、組織の拡充、事務局移転準備、同改革、支部の活性化などいづれも前年度からの継続事業があげられましょう。

なかでも、IFI95NAGOYA—世界インテリアデザイン会議は開催まで余すところ二年有予となってきました。特に本年度は3月に開催準備委員会が発表した<基本構想案>に沿って、いよいよ実行へのカウントダウンが始まります。今年の計画は次の三つのステージで事業が展開されます。

まず、第一ステージはテーマを反映した事業内容の検討、これらを運営する組織のありかた、裏付けとなる財源、予算などについて、具体的な企画案のつめ作業。

第二のステージは9月6日～11日にスコットランドのグラスゴーで開催されるIFI93会議での、IFI95NAGOYAへの参加呼びかけのPRプレゼンテーションの準備、実行。

第三のステージは、来年1月頃を目標に現在の開催準備委員会を発展的に解消し、事業の推進にあたる実行委員会の設置などが、事業骨子となります。

しかし、IFI95の成功に向けて解決すべき課題は少なくありません。以前にも増して会員及関係者の皆様の理解

ある協力が望まれます。「インテリア-新しいうねりの創造-INTERIOR:NEXT WAVE」の意味するところを斟酌し、インテリアデザインが人とモノと環境、さらには経済と文化を知的に統合するインターフェイスとして機能するような新しいうねりを創造しようではありませんか。

以上

第25回通常総会報告

平成5年度事業計画及び収支予算（案）を承認

去る5月27日（木）第25回通常総会が開催された。当日は、薄曇りの天気で穏やかな日和だった。会議場は昨年同様、理事会や委員会を常時開催している六本木の「国際文化会館」別館2階の講堂で開催された。

当日の出席者は、正会員本人出席35名、定款第26条による委任出席者が365名、合計400名と定足数を超え、定刻午後3時30分に開会した。

長岡理事長挨拶の後、議案2件及び報告事項2件は、5月初旬会員に送付された「議案書」に基づいて行われ、先ず議案の審議に入った。

最初に「平成4年度事業報告（案）及び同収支決算報告（案）」を事務局長が説明の後、議長は総会に諮り異議なく承認された。

引き続き、「平成5年度事業計画（案）及び同収支予算（案）」について泉副理事長が説明、質疑応答の後、議長は総会に諮り異議なく承認された。

報告事項に移り「選考委員会報告」について、「'92年度協会賞」の選考結果を島崎選考委員長が報告、続いて「名誉会員推挙報告」について事務局長が報告した。その中で、新名誉会員に梶原敏生会員他5名が推挙されたが、中村圭介会員については、10年以上にわたり役員を歴任されたので、会員規定に基づき名誉理事に推挙された旨補足し報告した。

総会は滞りなく進められ、最後に梶原副理事長が閉会の辞を述べ、定刻4時30分終了した。

閉会后、新名誉会員6名に長岡理事長より感謝状と記念品が贈呈され、中村新名誉理事が代表してお礼の挨拶を述べた。

当日お忙しい中を総会に出席された方々のお名前を以下に列記し、お礼に代えさせていただきます。

○総会2役

議事録署名人 細井一夫、藤村盛造

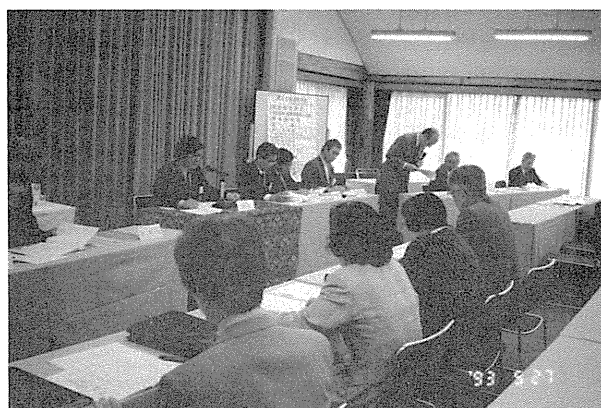
書記 池田高明

○正会員

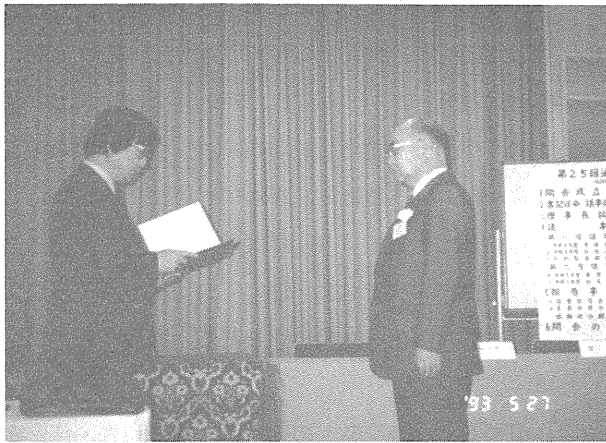
浅野 盛治	三輪 英生
安藤 孚	三輪 正弘
泉 修二	森谷 延周
井上 昇	山本 棟子
榎田 均	吉田 富一
海老沢 宏	米生 澪子
川上 信二	若井 修子
黒田 秀雄	わたなべひろこ
斎藤 武行	（以上関東）
島崎 信	池田 高明
白石 勝彦	宇賀 敏夫
鈴木 栄二	関里 繪子
高尾 齋	（以上中部）
高須 英彦	金子誠之助
長岡 貞夫	栢原 秀榮
中川 帛子	花田 眞
中村 圭介	山口 道夫
藤村 盛造	山崎 晶
細井 一夫	（以上関西）

○賛助会員

リリカラ(株)	河合 二郎
(株)アイデック	藤本 文明
日本デザイナー学院	宮部 寛
三井デザインテック(株)	島村 一志
清水建設(株)	清原 暢



総会議事を進行する長岡議長



中村新名誉理事に感謝状贈呈

「'92年度協会賞」高浜和秀、伴 充弘両氏に

1992年度の「協会賞」は、選考委員会の二次にわたる審査の結果、

・1992年度「協会賞」

作品 「一連の作品」 高浜和秀氏と

特別賞 「江戸からかみ保存と集大成の業績」

(株) 東京松屋 専務取締役 伴 充弘氏の2名の方に決定した。

選考の経過は、選考委員会(委員長・島崎信、委員・泉修二、川上信二、喜多俊之、白石勝彦、長岡貞夫、中村圭介、三輪正弘、山品 元、渡辺 優)の10名によって第1次審査を平成5年2月10日(水)18時より行った。この審査では、自薦、他薦による17件の申請について、提出資料に基づいて審査の結果、92年度「協会賞」の受賞候補として、次の4名を選出した。

受賞候補：高浜和秀、中川千年、伴 充弘、寺原芳彦
候補の方々には、第二次審査のため追加資料の提出を事務局より依頼することにした。

第二次審査は、第一次審査において受賞候補とされた4名について、平成5年3月17日18時から審査が行われ、高浜和秀氏と伴 充弘氏の2名が受賞者と決定した。

高浜和秀氏は1958年にイタリア ガヴィーナ社から NAEKO と夫人の名を冠したソファを発表、以来主としてイタリアを中心に幅広くヨーロッパで活躍し、多くの秀れた作品を創造している。家具のみならず、照明器

具、陶器など広い分野で、世界に問うこの出来る造形の質の高さを示していることが評価された。

(株) 東京松屋 専務取締役 伴 充弘氏は、創業300年の伝統を持つ企業として、衰退の傾向にある「江戸からかみ」の資料と、その技術の保存に尽力された。基材となる手漉和紙をはじめ、「江戸からかみ」の技術の物、心、人など関連する多くの分野での復活再生を企画された。更に今日のインテリア空間創造と活用に向け、それらの技術、製品の商品化へむけてのプロデュースの努力に対して深く敬意を表したい。

第二次選考審査に残られながら、受賞に至らなかった2名の候補については、委員の間では相当な時間にわたる激論が闘わされた。

いづれも相当する内容を持っていることは認められながらも、結果として、上記の2名の受賞が決定された。

以上

選考委員長 島崎 信 記



選考経過を述べる 島崎選考委員長

受賞者略歴

- ・高浜和秀(たかはま かずひで)
- 1930年 宮崎延岡市に生まれる。
- 1953年 東京工業大学建築家卒
- 1963年 渡伊、彼地で建築設計、インテリアデザイン、プロダクトデザインの仕事に従事し現在に至る。ボローニアに在住

・伴 充弘（ばん みつひろ）

1940年 東京浅草に生まれる。

1963年 慶應義塾大学卒業。

祖父の業である、和紙卸商 株式会社東京松屋に入社。

同社は、創業元禄3年 ふすま紙、壁紙のブランド・メーカー。

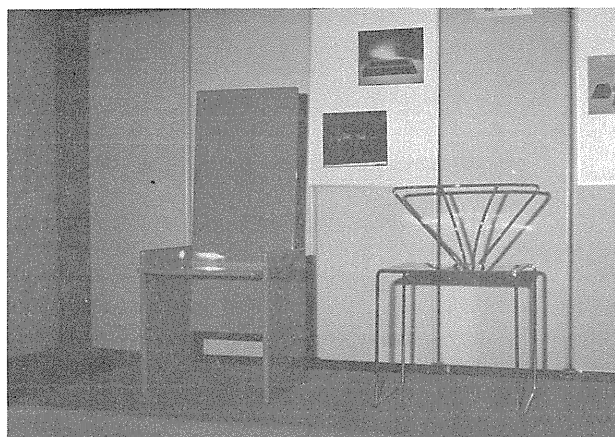
以来30年、長兄 伴 利兵衛（17代目社主）と力をあわせて、伝統のからかみ、

手漉き和紙の創生を願って、商品開発に従事。

1992年 創業 300年記念見本帖「彩（いろどり）」を発行。

現在 株式会社東京松屋 専務取締役
江戸からかみ振興会 事務局長

以上



会場入口に展示された高浜和秀氏作品

1992年度「協会賞」贈賞式

1992年度協会賞の贈賞式は、第25回通常総会終了後、同会館地下のパーティー会場で、午後6時から行われた。まづ開式及び司会を選考委員の白石勝彦会員が担当し、「協会賞」についての歴史や意義などが説明された。

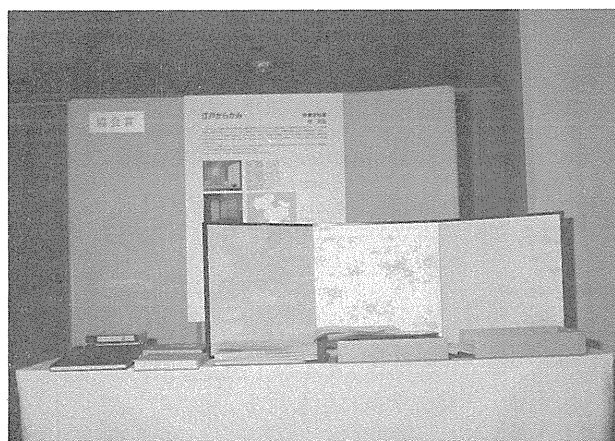
引続き島崎選考委員長より本年度の「協会賞」の選考及び贈賞の理由が報告された。続いて長岡理事長より協会賞を受賞された下記2名の方々に対し「協会賞」が贈られた後、祝辞を述べた。

贈賞に引続き、「協会賞」の受賞者、高浜和秀・伴 充弘の両氏から受賞の喜びの言葉が述べられ、参会者一同が拍手をもってお祝いし、贈賞式は閉会となった。

会場入口にお二方の作品や業績が展示され、報道関係者のフラッシュが絶えず、参会者一同が注目し、感嘆の声を上げていた。



受賞の喜びを語る高浜和秀夫妻



同特別賞受賞の伴充弘氏業績資料



受賞の喜びを述べる伴充弘氏と振興会関係者

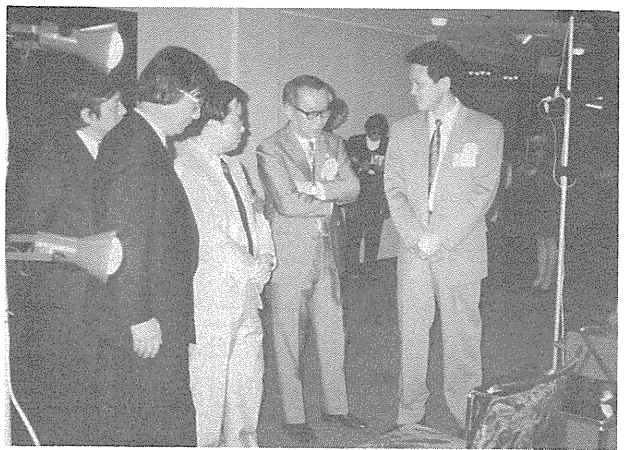
「総会及び協会賞受賞記念パーティ」 開催される

'92年度協会賞の贈賞式が終了し、小憩の後、「第25回通常総会及び1992年度協会賞記念パーティー」が、国際文化会館本館地下のパーティー会場で午後6時40分より開催された。パーティーには会員55名のほか、来賓の方々と報道関係を伴せ100名が参会した。

まず、関東支部総務委員長で本部総務委員の石井三雄会員の開会及び司会に始まり、JID を代表して長岡貞夫理事長が挨拶、次に来賓の(社)日本インダストリアルデザイナー協会の木村一男新理事長から祝辞をいただいた。続いて(社)インテリア産業協会の岡田徳太郎会長より乾杯のご発声をいただき歓談に移った。開宴後間もなく、通産省検査デザイン行政室に就任されて間もない玉木昭久新室長に到着早々お祝辞をいただく。会場入口に「'92年度協会賞」の受賞者高浜和秀、伴 充弘両氏の作品や業績の数々が展示され、華やかな雰囲気の中で進められた。宴たけなわとなった頃、中川国際担当理事より、「IFI'95名古屋」についての準備状況を報告、今後一層の協力を出席の方々にお願いした。歓談は盛会裡に午後8時過ぎまで続き、最後に泉副理事長の閉会の挨拶で散会した。最後に、お忙しい中を贈賞式及びパーティーにご出席下さった会員各位と、開催にあたってご協力いただいた総務、交流、広報各委員の方々に厚くお礼申し上げます。



祝辞を述べる木村JIDA新理事長



高浜氏に作品説明を聞く玉木検デ新室長

'92・第5回理事会報告

1. 日 時： 平成5年1月22日(金) 13:30~16:30
2. 場 所： 国際文化会館 会議室
東京都港区六本木5-11-16
3. 出席者名：別紙の通り
4. 議 題：

I. 議 案

- 第1号議案 事務局移転準備委員会委員委嘱の件
- 第2号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第3号議案 入会及び退会承認の件
- 第4号議案 議事録署名人名選任の件 (2名)

II. 報告事項

- (1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- (2) 第25回通常総会までのスケジュールについて
- (3) 新名誉会員の推挙予定者(6名)
- (4) その他
 - ・財務会計報告(11月分)
 - ・年間行事予定表(修正版)について
 - ・日本デザイン団体協議会(デザイン6団体)事務局長会議
 - ・会員名簿の推進状況について
 - ・関東事業支部主催新春交礼会の出席予定者

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名中、本人出席11名、委任状4名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 案

第1号議案 事務局移転準備委員会委員委嘱の件

議長は、第1号議案について事務局長に説明を求めた。事務局長は、本議案は'92・第4回理事会において委員会の設置が承認され、同時に委員の人選については正副理事長及び森谷総務担当理事に一任されたもので、協議の結果、委員長には森谷延周総務担当理事、委員には本部総務委員会委員の秋山修治、井上 昇両会員の他1～2名を追加する。総括として泉 修二副理事長を委嘱したい旨説明した。

議長は、第1号議案につき理事会の承認を諮り、意義なく承認された。

第2号議案 後援・協賛名義承認の件(5件)

(資料No.6)

議長は、第2号議案について事務局長に説明を求めた。事務局長は、下記の実施または実施予定について説明した。

議長は、第2号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

◎「第2回デコレックス・ジャパン'93展」

後援

平成5年5月19日(水)～22日(土)

主催 ジェー・イー・エス(株)

◎「第21回国際ホテル・レストラン・ショー/シンポジウム」

協賛

平成5年3月9日(火)～13日(土)

主催 (社)日本能率協会、(社)日本ホテル協会、(社)国際観光旅館連盟、(社)日本観光旅館連盟、(社)国際観光日本レストラン協会、(社)国際観光施設協会

◎「東京国際額縁と絵画フェスティバル」

後援・新

平成5年9月16日(木)～18日(土)

主催 全国額縁卸協同組合 TAFF実行委員会

◎「国際デザイン会議グラスゴー'93参加と北欧デザイン研修ツアー」

協賛・新

Aコース：「国際デザイン会議グラスゴー'93参加と北欧のデザイン先進国探訪」

平成5年8月28日(土)～9月11日(土)

Bコース：「北欧のデザイン先進国探訪」

平成5年8月28日(土)～9月5日(日)

主催 (株)国際デザインセンター

◎「ニュービルディング関西'93」

協賛

平成5年5月19日(水)～5月21日(金)

展示会：平成5年5月19日(水)～21日(金)

シンポジウム：平成5年5月19日(水)～21日(金)

主催 (社)日本能率協会

第3号議案 入会及び退会承認の件(資料No.7)

議長は、下記4件について野村事務局長に内容の概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説明した。

議長は、第3号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 2件

氏 名	支部名	保 証 推 薦 人
五百蔵祐一	関 東	内田 次彦 南 等
松山 嘉男	関 西	山口 道夫 宇野 隆

退 会 正会員 1件

氏 名	支部名
四方 功一	関 西

退 会 賛助会員 1件

社 名	支部名
スタイルフランス株式会社	関 東

第4号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に、中川^{キヌ}帛子、中川千年両理事の選任につき、理事会に承認を諮り、異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1992・第5回理事会に関し、定款第27条の定めるところに基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印
議事録署名人 中 川 帛 子 印
議事録署名人 中 川 千 年 印

1992・第5回理事会出席者

長岡 貞夫、泉 修二、栢原 秀榮、森谷 延周、 中川 帛子、宇賀 敏夫、中川 千年、山品 元、 わたなべひろこ、山本 棟子、川上 信二
理事総数15名中15名（本人出席11名、委任状4名） （委任状） 山口道夫、渡辺 優、山崎 晶、浅野 盛治
監 事 榎田 均、金子誠之助
事務局長 野村禮七郎

（順不同 敬称略）

次回1992・第6回理事会は、平成5年3月26日
（金）東京で開催の予定。

II 報告事項

議長は、報告事項(1)について各事業支部担当理事
及び本部各委員会担当理事に、(2)～(4)について野村
事務局長に報告を求め、それぞれ下記の通り報告した。

(1) 各事業支部及び本部各委員会の事業推進状況

・関東事業支部（野村）

国際委員会が企画したイタリア研修ツアーの
参加者は31名となった。1月24日出発し31日
帰国の予定。IDカードについては12月に再度
キャンペーンを行った。「IFI '95名古屋」を
控え、将来全会員に普及させるべく努力中。

以上浅野担当理事委任につき、事務局長が代
理報告した。

・中部事業支部（資料No.1-6）（宇賀）

昨年10月16日より本年1月23日までの活動
状況について、去る1月11～12日の両日、名
古屋市及び中部地区関連団体を回り、「IFI '9
5名古屋」開催を控えて新年の挨拶を行った状
況を中心に、資料に基づき報告した。

・関西事業支部（資料No.1-7）（栢原）

昨年11月26日より本年1月14日までの活動
状況及び2月26日までの予定について、支
部情報誌「ECHO」創刊号を資料として配布し、
創刊記念パーティー等を中心に資料に基づき
報告した。

・九州事業支部（資料No.1-1）（中川・千）

昨年11月14日より本年1月26日までの活動
状況及び2月26日までの予定について、「九
州インテリアデザインくまもとinアートポリス」

完了に伴う経過及び収支状況等を中心に、資
料に基づき報告した。

・選考委員会（野村）

1992年度協会賞の推薦件数は今日現在12件
の推薦があり、第1次審査を来る2月10日に
開催の予定。

・総務委員会（森谷）

来る1月26日、全国会議を東京で開催し、H
4年度の活動状況及びH5年度の事業計画、事務
局改革委員会の動き、本部事務局移転に伴う準
備委員会設置等について話し合う予定。

・組織委員会（資料No.1-2）（山品）

入会申込様式の改訂（案）について別紙資料
の通り作成した。最終頁に職域別カテゴリーチ
ェックシート欄を新設し、今後の資料として役
立てたい。新入会申込書が出来次第、全会員に
配布し、新入会員募集のキャンペーンを行う予
定。

・国際委員会（中川・帛）

現在、IFI '95委員会に主力を傾注している。I
FI 本部発行の「IFI ニュースレター」コピー
をJID ニュースIFI 特集号に同封し、会員に配
布した。また、「障害者に対するデザインマニ
ュアル」の資料の依頼があり、JID ニュースを
通じてその協力を会員に呼び掛けた。

・広報委員会（資料No.1-5）（わたなべ）

広報先名簿の見直しに関して、4月末を期限
とし各事業支部に照会をお願いした。今秋全国
会議を開催し、JID 全体の広報活動につなげる
よう配慮する。

・出版委員会（川上）

「インテリアデザイン」113号は、発行が予
定より1週間遅れる見込。今回も広告掲載先の
取得に苦勞したので、今後はJID 発行の他の出
版物との事前調整が必要と考える。発行にあた
り前号の在庫など、余剰を抱えないよう配慮す
る。

・教育・研究委員会（資料No.1-3）（山本）

JID にとって、会員有志の自主研究活動につ
いても積極的に推進すべきと思われるが、自主
研究活動の基本ルール（案）を作成し、理事会

に提議する予定。3月に全国会議の開催を予定している。

・展覧会委員会 (野村)

来る1月27日より開催予定の「JAPANTEX'93」に出展し、JIDのPRを行うが、その準備状況について山口担当理事委任につき、事務局長が代理報告した。

・報酬基準委員会(資料No.1-4) (栢原)

引続きデザイン料・大型物件への対応・コーディネート業務についての検討を重ねている。以上山崎担当理事委任につき、栢原副理事長が代理報告した。

・IFI '95委員会 (長岡)

開催準備委員会より受託した「IFI '95名古屋」の開催概要書(資料回覧)を作成中で最終(案)を3月中旬開催予定の準備委員会第2回総会に提出し承認される予定。具体的な事業内容の決定は今秋発足予定の開催委員会で決定される。

・事務局改革委員会 (栢原)

現在、事務局職員就業規則、同給与規定、同退職金規定等の改訂(案)を作成し、検討中。次回'92・第6回理事会に答申(案)を上程し、承認を得た上で平成5年度より実施する予定で準備を進めている。

(2) 第25回総会までのスケジュール(案)について(資料No.2)

来る5月27日(木)開催予定の第25回通常総会に関してそれまでのスケジュール(案)が事務局より提出された。

(3) 新名誉会員の推挙予定者(資料No.3)

新しく次の6名が推挙される予定。

梶原敏生、高須英彦、中村圭介、吉住一信(以上 関東) 松宮純一、河原啓介(以上 関西)

(4) その他

・財務会計報告(11月分)(資料No.4)

平成4年4月度～11月度の収支実績について、資料に基づき報告をした後、今後の財政見通しについて報告した。

・年間行事予定(案)について(資料No.5)

平成4年12月より平成5年10月までの行事予定(案)について説明した後、一部修正を加えた。

・日本デザイン団体協議会事務局長会議

平成4年12月1日にデザイン6団体の事務局長会議が開催され、デザイン会館構想などについて意見交換を行った。

・会員名簿の推進状況について

印刷および広告取得依頼先決定の経緯および原稿回収状況について、総務担当の森谷理事より推進状況等を報告した。

・関東事業支部主催新春交礼会の出席予定者

本理事会終了後午後6時30分より開催される新春交礼会の出席予定者及び進行予定について説明した。

議長は、報告事項(1)～(4)について理事会の了承を求め、理事会はこれを了承した。

なお、議長は、各事業支部で発行している情報誌の配布について、今後は役員、事業支部長、本部及び各支部委員長全員に各支部事務局より配布するよう事業支部担当理事に要請した。

以上

'1992・第6回理事会報告

1. 日 時： 平成5年3月26日(金) 13:30～17:00

2. 場 所： 国際文化会館 会議室

東京都港区六本木5-11-16

3. 出席者名：別紙の通り

4. 議 題：

I. 議 案

第1号議案 平成5年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

第2号議案 新名誉会員推挙承認の件

第3号議案 「名誉会員細則」廃止承認の件

第4号議案 「事務局改革」諮問に関する答申(案)承認の件

第5号議案 (社)商業施設技術団体連合会代議員人事(案)承認の件

第6号議案 後援・協賛名義承認の件

第7号議案 入会及び退会承認の件

第8号議案 議事録署名人選任の件 (2名)

II. 報告事項

- (1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- (2) 平成5～6年度選考委員選挙結果報告
- (3) 平成4年度事業報告（案）及び収支決算見込
- (4) 第20回国井喜太郎産業工芸賞受賞者
- (5) その他

- ・財務会計報告（2月分）
- ・年間行事予定表（修正版）について
- ・新会員名簿の進行状況について

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名中、本人出席12名、委任状3名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

1. 議 案

第1号議案 平成5年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件（資料No.7）

議長は、第1号議案について森谷総務担当理事にその骨子を、野村事務局長に内容の細目について説明を求めた。森谷理事は、この事業計画（案）及び収支予算（案）は、正副理事長、本部総務委員長、本部事務局長からなる調整会議で、原資の把握、重点配分を基本に事業計画と予算配分を図ったものである旨説明した。引続き事務局長が収支の内容について順次説明した。理事会は慎重に審議した結果、一部の微調整については予算調整会議に一任してはどうかとした。

議長は、第1号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案 新名誉会員推挙承認の件（資料No.8）

議長は、第2号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、定款第5条3項及び会員規定第2条3項及び第6条3項に基づき次の6名を名誉会員に推挙する。その中で、中村圭介は、会員規定第2条3項(2)の名誉理事に該当する旨補足説明した。

議長は、第2号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

氏 名	事業支部
梶原敏生、高須英彦、中村圭介、吉住一信	関東
河原啓介、松宮純一	関西

第3号議案 「名誉会員細則」廃止承認の件（資料No.9）

議長は、第3号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、この細則は、「49・第5回理事会」で承認され、昭和49年4月1日付けで施行されたものであるが、現・定款及び、現・会員規定の改訂時に、整合性の点からもすでに盛り込んだものであるとし、本細則を廃止したい旨説明した。

議長は、第3号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第4号議案 「事務局改革」諮問に関する答申（案）承認の件（資料No.10）

議長は、第4号議案について事務局改革委員会栢原委員長に説明を求めた。栢原委員長は、同委員会の推進状況報告及び答申書（案）について、資料に基づき説明した。理事会は、提出された資料を基に慎重に審議した結果、職員諸規定（案）の内容を職員に説明し、必要な意見を十分聴取した上再度答申してはどうかとの意見が出された。

議長は、第4号議案について、継続審議とする旨理事会に諮り、理事会はこれを了承した。

第5号議案 （社）商業施設技術団体連合会代議員人事（案）承認の件（資料No.11）

議長は、第5号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、（社）商業施設技術団体連合会の平成5～6年度役員改選にあたり、JIDより6名の代議員選出候補者に関する人選依頼があり、正会員の中から、浅野盛治、片谷充克、斉藤武行3名を候補者として決定したい。残りの3名については浅野理事に一任したい旨説明した。

議長は、第5号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第6号議案 後援・協賛名義承認の件（資料No.12）

議長は、第6号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、下記2件の実施予定について説明した。

議長は、第2号議案につき理事会の承認を諮り、一件を除き異議なく承認された。

◎セミナー「快適性の科学」 協賛

平成5年5月27日（木）～28日（金）

主催 生理人類学会（快適性研究部会）

なお、福山インテリアコーディネーター協会より後援名義の申請があった「福山インテリアコーディネーター協会設立記念講演会」については、本部扱いとせず関西事業支部に判断をゆだねることとした。

第7号議案 入会及び退会承認の件（資料No.13）

議長は、下記35件について野村事務局長に内容の概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説明した。

議長は、第7号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 7件

氏 名	支部名	保 証 推 奨 人
三輪 英生	関 東	宮城由紀子 山本其観代
松本 全三	関 東	飯嶋 房樹 藤江 健
小澤 盛男	関 東	山口 道夫 柏原 秀榮
洪 達仁	関 東	柏原 秀榮 山田健一郎
早川 満利	関 西	山口 道夫 柏原 秀榮
加藤 力	関 西	柏原 秀榮 金子誠之助
高濱 洋子	九 州	村田 良憲 酒井 博幸

入 会 賛助会員 3件

社 名	支部	紹介者
デントン・コーカー・マーシャル・ジャパン(株)	関東	事務局扱い
(株)アズ	九州	中川千年
(株)アダル	〃	中川千年

退 会 正会員 13件

氏 名	支部
高 柴 孝 子	関東
穴 山 邦 夫	関東
池 邊 武 彦	関東
木 柳 壽 夫	関東
菊 岡 皆 子	関東
橋 口 優	関東

丹 治 亜 子	関東
村 形 省	関東
佐久間 克 巳	関東
柘 植 一 毅	関西
酒 井 隆 嗣	関西
安 永 洋 子	九州
鈴 木 泰 宏	九州

退 会 賛助会員 12件

社 名	支部
三好木工(株)	関東
(株)エービーシー商会	関東
コクヨ(株)東京統括本部	関東
日本ビクター(株)	関東
(株)秀光	関東
日本インターフォン(株)	関東
トステム(株)	関東
(株)速水家具卸センター	関東
(株)アイビック	中部
マツモト工芸産業(株)	関西
(株)志野陶石	関西
(株)上田製作所アートフォルム事業部	関西

第8号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に、森谷延周、山口道夫両理事の選任につき理事会に承認を諮り、異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1992・第6回理事会に関し、定款第27条の定めるところに基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印

議事録署名人 森 谷 延 周 印

議事録署名人 山 口 道 夫 印

1992・第6回理事会出席者

長岡 貞夫、栢原 秀榮、森谷 延周、 渡辺 優、中川 帛子、宇賀 敏夫、 中川 千年、浅野 盛治、山本 棟子、 山口 道夫、山品 元、山崎 晶
理事総数15名中15名（本人出席12名、委任状3名） （委任状） 泉 修二、川上 信二、わたなべ ひろこ
監 事 榎田 均
事務局長 野村禮七郎

（順不同 敬称略）

次回1993・第1回理事会は、平成5年5月27日
（木）東京で、'93・第2回理事会は、7月7日
（水）名古屋で開催の予定。

II 報告事項

議長は、報告事項(1)について各事業支部担当理事及び本部各委員会担当理事に、(2)～(5)について野村事務局長に、新会員名簿について森谷総務担当理事に報告を求め、それぞれ下記の通り報告した。

(1) 各事業支部及び本部各委員会の事業推進状況

・関東事業支部（資料No.1-1）（浅野）

11月24日より本年4月2日までの活動状況について、去る2月19日開催の目黒雅叙園見学会などを中心に資料に基づき報告した。

・中部事業支部（資料No.1-2）（宇賀）

2月4日（株）国際デザインセンター主催の「国際デザインコンベンション'93名古屋」の企画（案）打ち合わせ会に担当理事が準備委員として出席した件を中心に資料に基づき報告した。

・関西事業支部（資料No.1-3）（山口）

1月20日より3月21日までの活動状況及び5月中旬までの予定について、2月24日開催の支部交流会「ECHOの会」等を中心に資料に基づき報告した。

・九州事業支部（資料No.1-4）（中川・千）

1月22日より2月27日までの活動状況及び支部総会の開催予定について、第8回月例会等を中心に、資料に基づき報告した。

・選考委員会（野村）

去る2月10日委員会を開催し、'92年度協会賞の

推薦17件について第1次審査を行い、その中より4件をノミネートした。次に3月17日に第2次審査を行った結果、'92年度協会賞に高浜和秀氏を、特別賞に（株）東京松屋専務の伴 充弘氏を決定した。

・総務委員会（森谷）

去る1月26日、全国会議を東京で開催し、平成4年度の活動状況及び平成5年度の事業計画及び収支予算、事務局改革委員会の動き、本部事務局移転に伴う準備委員会の動きについてコミュニケーションを図った。

・組織委員会（資料No.1-7）（山品）

2月19日に交流委員会と合同で全国会議を開催した。改訂した「入会案内兼新入会申込書」をJIDニュース2・3号に同封し、同時に新入会員募集のキャンペーンを同時に行う。

・国際委員会（資料No.1-8）（中川・帛）

現在、IFI'95委員会の基本構想作成等に主力を傾注している。IFI本部からの情報や要請事項はJIDニュースに同封し、関連情報として伝えている。

IFI会長より事務局長退任に伴う寄付について要請があり、加盟他国の支出額に準じて協力する予定。

・交流委員会（資料No.1-9）

去る2月19日、本部交流委員会を開催、組織委員会担当理事、同委員長も出席し、行政及び賛助会員との交流推進等について意見交換した。新会員名簿作成にあたり業務内容の索引をつけ、企業別カテゴリーを明確にするように提案した。

・広報委員会（資料No.1-10）（わたなべ）

3月29日に開催される世界インテリアデザイン会議開催準備委員会の第2回総会で、IFI'95名古屋の基本構想（案）が承認されるので、インフォネット社の協力を得て、プレスリリースを作成し関連団体や報道関係100社に発送した。

・出版委員会（川上）

「インテリアデザイン」114号について5～6月頃、委員会を開催し、企画をたてるが、体裁は前113号と同程度とする予定。

・教育・研究委員会（資料No.1-12）（山本）

去る3月20日全国会議を大阪で開催、各事業支部及び本部の委員会活動報告について報告の後、「学

生ポートフォリオ指導会（仮称）」のほか、今後の教育・研究のあり方を検討した。今後は委員会活動に若い会員を参加させ、他の委員会とも連携協力して推進して行く予定。

・展覧会委員会 (山口)

去る3月24日名古屋で全国会議を開催、各事業支部の活動状況報告の後、今後の委員会活動について討議した結果、各事業支部で支部の特性を生かした展覧会をそれぞれ企画実施し、これらを集結した形として IFI'95名古屋で「日本の木の椅子展」を推進することになった。またその際のスポンサーなどについても言及した。

・報酬基準委員会 (山崎)

去る2月10日全国会議を開催、人件費高騰に伴う標準料率表の改訂案を作成したほか、工事費区分最高20億円に増額、その他についても検討を進めている。今年度中に改定案を発行する予定。今後は2年毎見直しを行う。

・IFI'95委員会 (野村)

開催準備委員会より受託した「IFI'95名古屋」の基本構想（案）について、2月20日常任委員会で決定し、2月22日開催の準備委員会幹事会に提出した。3月29日開催予定の第2回総会で、基本構想（案）及び平成5年事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認後、外部に発表される予定。

・事務局移転準備委員会 (森谷)

委員に秋山修治、井上 昇、石井三雄、前原紀雄4会員を委嘱し、去る3月3日第1回委員会を開催、これまでの経緯、今後の進め方のほか移転先のオフィスプランを検討した。まだ3月17日東京ガスを訪問し、要望事項を申し入れた。JID ニュース次号を通じ、移転先の情報を会員に知らせる予定。

(2) 平成5～6年度選考委員選挙開票結果報告（資料No.2）

去る3月4日開催の選挙管理委員会（香川顕郎委員長）の開票結果を、資料に基づき報告した。当選者は次の通り。

長岡貞夫、川上信二、泉 修二、白石勝彦、島崎 信、中村圭介、喜多俊之、三輪正弘、森谷延周、浅野盛治（以上10名 得票順）

(3) 平成4年度事業報告（案）及び同収支決算見込（資料No.3）

事務局で作成した事業報告（案）を本部各委員会委員長及び各事業支部長に送付し、確認後まとめた。さらに収支決算見込について、現在の状況を説明した。

(4) 国井喜太郎産業工芸賞受賞者（資料No.4）

去る2月20日、（財）工芸財団より受賞者3名が公評され、その中 JIDから中川千年会員（九州事業支部担当理事）が受賞した。ほか2名受賞者は次の通り。

柳宗理氏、川上元美氏

(5) その他

・財務会計報告（2月分）（資料No.5）

平成4年4月度より平成5年2月度までの収支実績について、資料に基づき報告した。

・年間行事予定（案）について（資料No.6）

平成4年12月より平成5年10月までの行事予定（案）及び、改定箇所について説明した。

・会員名簿の進行状況について

原稿の回収状況、掲載予定項目、広告取得状況について報告した後、森谷総務担当理事より実施への財政面より各支部担当理事を中心に広告取得の協力を要請した。

・名誉会員の財政支援提案について

中村圭介前理事より、名誉会員に財政の支援のための拠金を願う提案があった旨報告した。

議長は、報告事項(1)～(5)について理事会の了承を求め、理事会はこれを了承した。

以 上

平成5・6年度選考委員選挙開票結果報告

選挙管理委員会委員長 香川顕郎

平成5・6年度選考委員選挙の開票は、去る3月4日（木）午後1時より本部事務局において行った。その概略は、下記の通り。

1.出席委員名

香川顕郎（委員長・名誉会員）、梶高樹（名誉会員）
野村禮七郎、田口康之、高木久美、石崎芙美子（以上事務局職員）

以 上 6名

2.開票状況

発送数 814通、投票数 394票（内訳 有効 384票、無効 10票）、投票率48.4%

（注）無効の内訳

定数10名以上を記入したもの 5票

無記入のもの 5票

3.開票結果（得票数順）

長岡 貞夫 126、川上 信二 101、

泉 修二 77、白石 勝彦 69、

島崎 信 67、中村 圭介 67、

喜多 俊之 64、三輪 正弘 57、

森谷 延周 48、浅野 盛治 48

以上 定数10名

次点

渡辺 優 47、大野美代子 47、清水忠男 45、

光藤俊夫 43、垂水健三 40、岩倉榮利 40

4.その他

今回の投票率は年末年始にあたり、残念ながら過半数に達しませんでした。委員長の裁量により投票結果を有効といたしました。

なお、今回の無効投票の中で5名の方々が10名の枠をこえた方でした。10名以下なら1名でも有効となりますのでご留意下さい。

最後に開票当日お忙しい中をご協力いただいた梶高樹名誉会員他に紙上をお借りしお礼を申し上げます。

しながら制作したのが実情でした。このように書くとかささらけ出したような話しですが、今回の名簿づくりを通していくつか新しさを加味することもできました。

1) コンピュータの活用により、次回からの作業の簡素化とコストダウンに備えた。

2) A4版とし、10人単位で見られると同時に、説明文の適正化を図った。

3) 正会員職域別分類表を加えた。

4) 名誉・賛助会員業種別分類表を加えた。

（本部交流委員会提案）

5) 各支部事務局の案内図を加えた。

なお、制作にあたって、1文字ごとのチェックは本部事務局が行いましたが、目次立て、レイアウトのためのフォーマット、装丁などは、時間的に専門家の手配がつかず、明日、印刷会社にまわすといった段階で、私がやむを得ず手掛けました。次回のときには、スタートの段階で、この点も改める必要があります。

本部事務局のメンバーはもとより、広告取り扱い業務については（株）アーチフリー、印刷・製本は（株）ユリクリエイトにそれぞれお願いいたしました。大変なご苦労があったことを付記しておきます。

（総務担当理事・森谷延周）

本部委員会の動き

●会員名簿のリニューアル 1993～1994年版を発行

「会員名簿」は内外に対するコミュニケーションに活用されるものであり、JIDの基幹事業の1つです。現在、隔年ごとの発行となっていますが、予定より1ヶ月有余遅れでようやく発行することができました。

新・名簿の企画や編集などについて、本部出版委員会から本部事務局に一切を委譲されたのが昨年9月でした。その後予算上の概算見積り（3社）や前回の版下探しなどに手間取り、会員への案内は12月、広告掲載案内は年明けの1月となりました。

さらに、いつもながらのことですが、今回も、会員からの原稿の到着遅れが、発行遅れの要因となり、多方面にご迷惑がかかりました。一方、どんな名簿にリニューアルするかといった「企画立案」を、本部事務局に求めることは現状では難しく、一連の流れの中で応急手当を

●IFI'95委員会

IFI'95名古屋開催に向けての経過概要について

IFI'95委員会副委員長 宇賀 敏夫

今年の3月以後のIFI'95名古屋開催に向けての委員会の動きの経過概要を紹介しましょう。JIDのニュース2回3号のトップ記事の中で長岡理事長が案内をした通り、3/29（月）の第2回開催準備委員会にて正式に「基本構想」が公表されました。内容については配布された資料でお解りの事と存じます。その後NCVBとIFI常任委員会の合同会議及び常任委員会並びに関係者のみの小委員会等およそ10回程会合が開催されたと思います。今年の9/5～9/10のIFI'93グラスゴーに向けてのツアー及びジャパンナイトの予算、準備計画及び人客などの他、PR用の資料即ちポスター、パンフレット、リーフレット、ステーションナリィの統一したビジュアルデザインをどなたに依頼した方が良いのか、そしてグラスゴー会議終了後に生じてくるIFI'95名古屋

開催に向けての実行委員会組織とそれの内容及び事務局、事業内容として展覧会やコンペなどの併催事業等これからこれらの問題を具体化に向けての検討を行っている訳です。追々ご案内が会員の皆様に配布されて参ります。どうぞ前向きに御検討をお願いして置きます。

●教育・研究委員会

活動状況及び今後の計画

○活動状況

3月20日（土）に大阪にて教育研究委員会総会を開催。担当副理事長、担当理事、本部委員会メンバー、各事業支部教育研究委員会委員長（含む代理）および関西事業支部長（特別参加）にお集まりいただき、報告、討議などを行った。議題は(1)各事業支部における教育研究委員会の活動報告、(2)本部教育研究委員会活動の報告、(3)本部委員会提案による「学生コンペ」「学生ポートフォリオ指導会」および「会員による自主研究活動の奨励」についての検討、(4)JID直近動向解説（副理事長）、(5)その他である。本部教育研究委員会と各事業支部教育研究委員会から提出された資料等を基に意見交換がなされたが、口頭による熱心な説明も多々あり、各事業支部の特性に基づく積極的な活動ぶりに、感嘆の声しきりであった。

その後、本部教育研究委員会は、前述の総会における討議結果を基に、以下のような活動方針を打ち出し、必要な作業を行ってきた。

- (1)「学生ポートフォリオ指導会」の内容を拡大し、「デザイン学生とJID 会員との交流会」を各地で開催する。これは、学生に対する教育効果のみならず、JIDの広報や若手新会員増、さらには就職情報の交換など多面的な相乗効果を目指すものである。目下、他委員会に呼び掛け、具体化に向け進行中。
- (2) JID会員による自主研究活動を奨励するため、関連する規程案および申込書式案等を作成。7月の理事会にはかる予定である。

（教育研究委員会委員長 清水忠男）

●事務局移転準備委員会

事務局移転に伴うオフィスプランニング進行中

来年5月、本部事務局が「新宿パークタワー」に移転することは、前号のJIDニュースでお伝えしましたので、今号ではその後の「事務局移転準備委員会」の動きについてふれます。

3月に設置された同委員会は、建築工事の進捗状況や与えられたインテリアの条件を踏まえて、月1回のペースで、オフィスレイアウトを中心に討議を重ねていますが、その基本は、JIDにとってふさわしいインテリアであることと、限られたスペースをいかに有効に使うかにあります。

3月11日、東京ガスアーバンプロジェクト（株）側から、入居予定の8階の動線計画、床、壁、天井のカラースキーム、空調や照明などについて説明を受け、それをベースにイメージを優先させながら、スペースの使い方や家具のレイアウトを検討しています。

現在の事務局には、昔から使っているグレーのデスクや戸棚などがあり、しかも収納物が納まりきらず、ところかまわず溢れています。そして、来客の対応のためには、簡単な折たたみいすしかありません。これらの什器・備品は、この機会に思い切って廃棄し、機能や感性の面からも一新する方向で取り組んでいます。

例えば「収納」1つとっても、日増しに増える収納物のための収納部分もできるだけ確保しますが、一方、現在所有しているものの要・不要の選別と内容別の収納システムの確立が同時に必要となります。

今後はこれらを煮つめた上で、什器・備品など、具体的な予算計画と購入の折衝などが検討課題となります。また、次のステップでは移転に伴う封筒、用箋などのつくり直しを機にCI計画の立案と実施、移転PR、移転記念パーティーなどが控えています。

会員の皆様から什器・備品などの購入に対する便宜や移転に伴うご提案などございましたら、早目に委員会に対してお申し出下さいますようお願いいたします。

（事務局移転準備委員会委員長・森谷延周）

事業支部の動き

●中部事業部

中部事業支部活動報告

- ・懇談会「IFI'95名古屋について語り合う」開催

3月29日当地でIFI開催準備委員会の総会が開催され、IFI'95名古屋の基本構想（案）が承認された。

同懇談会に出席した長岡理事長（委員長）はじめ同委員会委員計8名と中部事業支部会員13名が同会議並びに運営組織のあり方などについて懇談、意見交換をした。

参加した中部事業支部会員には、先の'89の世界デザイン会議（名古屋）実行委員会経験者も多く、活発な意見が出された。先ず会議のあり方については

- ①会議内容をむやみに広げ過ぎず、又、関連業界の協力が得られる会議も考えるべきである。コンセプト作りとか仕掛け方など、良いネタ作りを考える必要がある。
- ②会議自体を成功させることは言うまでもないが、会議が終わった後に何を残すかということも大切である。
- ③事前ミニ会議（プレコンGRESS）など、プレイベントの企画により本会議の盛り上がりを図る。
- ④本会議並びに関連事業以外にも、支部レベルの作品展などのイベントがあってもよいのではないか。
- ⑤会議の成果を出版物にまとめる。

次に組織づくりについては

- ①実行委員会の発足は来年初めとのことだが、コンセプト作り、或いは会場確保などの点で、必要な組織は先行させてもよいのではないか。
- ②実行する人と考える人というのではなく、全員が一体となって参加することが大切である。
- ③インテリア業界に限らず、幅広い分野に展開する必要がある。
- ④会議開催期間中の運営は、できる限り業者委託をするなどして、会員が会議に参加できるようにすべきである。以上内容の一部である。

・運営委員会開催

4月10日に運営委員会を行い、支部総会開催に向けて事業計画について協議した。総会は、6月27日三重県度会郡にある語らいの里「嘶野」で行う。総会終了後は、ほたるを鑑賞しながらの懇親会を予定。

- ・グラスゴー会議参加ツアー計画案まとまる。

中部事業支部では、グラスゴー会議に参加するためのツアー計画を準備していたが、会員へのアンケートにより、8日間のツアー計画に決定した。詳細は先に協会本部より出されたツアー情報をご参照下さい。

（中部事業支部長 池田高明）

●関西事業支部

・支部交流会＜エコーの会＞

関西事業支部交流委員会の主催による＜エコーの会＞が今年月に発足したことは前号でお知らせしたが、第2回目が4月21日千田要宗交流委員長のオフィス＜クリエイティブ飛行船＞で開催された。

千里ニュータウン内の閑静な住宅街にあるオフィスで、当日の座長千田氏のデザインに対する、またオフィス設立に至る思い入れなどを語ってもらい、集まった会員やビジターの間で夜遅くまで熱気のこもったディスカッションが続いた。会の進行中所員の皆さん方によるこまやかな心配りが素晴らしく、参加者の心に深く染み入るものがあつた。

次回は、6月15日、竹村楊子会員のオフィス&ギャラリー＜AD&A＞で行われる。

ここは大阪港に面する赤煉瓦の倉庫群の一角で、近くには貨物船・客船などの埠頭、大水旅館＜海遊館＞や＜天保山ハーバービレッジ＞があり、現在サントリー・デザインミュージアムやホテルも建設中の大阪市が新しく開発中のウォーターフロントである。周辺的环境も申し分なく、会の盛り上がりが今から期待される。

（支部交流委員会）

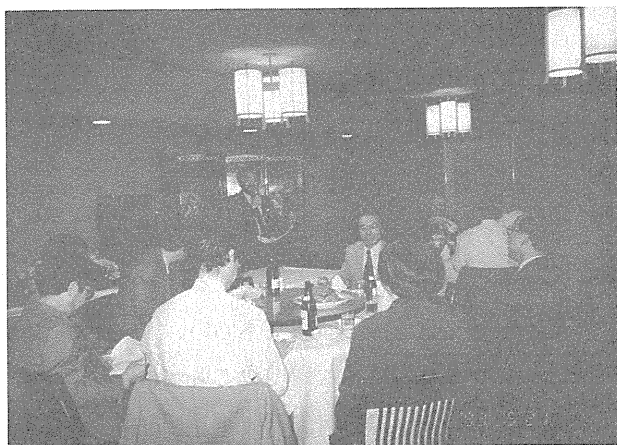
・平成5年度支部総会・懇談会

5月21日、関西事業支部の平成5年度総会および懇親会を難波・高島屋五色園で開催した。平成4年度事業報告・収支決算報告、平成5年度事業計画・収支予算案を承認、その後懇親会に入った。栢原副理事長の挨拶、富田名誉理事による乾杯を経て中華料理の卓を囲みながら、野原組織委員長による新入会員の紹介や参加会員によりユーモアに富んだ自己紹介など和やかな歓談の時を過ごした。

今年度の支部活動は、交流・研究・出版などを中心の様々な計画がなされているが、それと共に本部活動と連係

して<IFI95名古屋>開催へ向けての準備作業やグラスゴー・デザイン会議への参加、更に外部加盟団体である大阪デザイン団体連合、大阪デザイン活動国際化促進協議会などが秋に開催予定のイベントや(財)国際デザイン交流協会が開催するデザイン会議などへの参加と実に盛り沢山である。これらの活動を通じて、会員間のコミュニケーションの緊密化を計ると共に関西事業部をますます活性化していきたい。

(浅田支部長)



総会終了後の懇談会

・<ECHO>第2号発行

支部情報誌<ECHO>第2号が出来上がり5月21日支部総会当日配布することが出来た。本誌は賛助会員も含め、会員間の情報交換、コミュニケーションの緊密化を重点の一つとしているが、今回は金沢の朝田さんや高松の香川さんなど遠隔地在住の日頃直接お会いする機会の少ない会員からの寄稿もいただいて、その目的の一端を果たせた。これからもこのようなスペースを充実させたい。各支部にも若干部数をお送りしております。興味のある方はどうぞ御覧下さい。

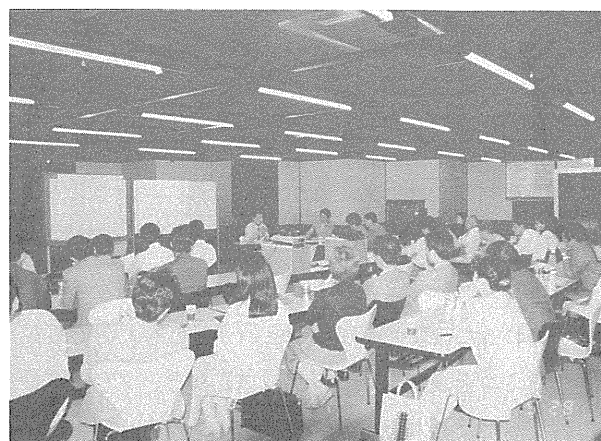
(支部出版委員会)

・第4回国際セミナー

5月28日、賛助会員(株)遠藤照明の本社ショールーム会議室をお借りして第4回国際セミナーを開催。9月のグラスゴー国際デザイン会議参加への予習の意味も含めて<C.R.マッキントッシュのデザイン原点>をテーマに、グラスゴー大学においてマッキントッシュの研究で博士号を取得された建築家・木村博昭氏に講演をお願いした。マッキントッシュがアーツ&クラフトの流れから出発してアールヌーボー造形時代、これにジオメトリックな造

形を融合させたポスト・アールヌーボー時代、そしてジオメトリック・モチーフが勝るアールデコ時代、へと変遷していった様子をスライドと共に熱っぽく論じられた。また、グラスゴー美術大学、ウィロー・ティールーム、ヒルハウスのインテリアの非常に美しいスライドも上映された。最後に当時最先端の工業都市、ハイテク都市であったグラスゴーにおいてマッキントッシュの身近に日本の情報があつた事実、そして彼がそれを消化しつつ独自のデザインを創りあげていった過程などが解説された。続いて40数名の参加者との質疑応答など、マッキントッシュ理解のための有意義なセミナーとなった。

(支部国際委員会)



第4回国際セミナー会場風景

●九州事業支部

近況と活動計画

支部長 鐘ヶ江茂則

・クルーズ船“マリエラ”見学会

九州では若葉が薫る季節なのに少し異状が感じられる今頃です。

去る4月9日、熊本の村田会員の紹介でこの春博多湾に就航する、最新鋭の本格クルーズ船“マリエラ”の見学会を行った。村田氏の友人で、この船のインテリアに関する企画設計をされた鈴木幸生氏を神戸より迎えて、主旨説明を受けた。『海の上の貴賓席』にふさわしいインテリア、一流シェフの料理ともてなし、そして博多湾と、ゴージャスなセッティングとなっていた。またチャーターによる船上パーティー、レセプション等も可能とか。

この度の見学会への参加者に会員外の参加者が多かったこと、会員による口込みが良かったこと等があげられ

るが、一つは昨年の「九州インテリアデザインINくまもとアートポリス」による、支部への意識が高まったとしたら喜ばしいことである。

今後一般参加のイベントやセミナー等の催しに際しての支部の対応について一考を要した。インテリアデザインに関する仕事をしている人又は学生等の参加に対してJIDのPR、交流の形、意見の交換等に必要な準備と対応が求められた。

・中川千年会員、第20回国井喜太郎産業工芸賞受賞祝賀会を行う。

4月にはいって中川氏の受賞の喜びを支部会員の多くから語られ早く支部としてのお祝いをしたいとの申し入れがあった。九州支部も総会も終わり一段落したところで5月11日久留米市ハイネスホテルにて受賞祝賀会を行った。「40数年にわたり優れたデザイン、技術をとおして各地の地場産業の振興に尽くした功績」による受賞である。

中川氏ご夫妻を招いて、会員22名が参加、支部会員だけの内々の祝賀会となった。実行委員長の挨拶から記念品の贈呈、乾杯、祝電披露、そして全員による一分間のバラエティーに富んだスピーチと楽しいなごやかな時間のうちに終宴をむかえた。

・支部例会について

4月5月は総会の時期にて大変忙しい。主な会に通産局の九州デザイン協議会、インテリア産業協会、JIDの本部支部総会とある。支部による事業は大きく分けて月例会と委員会事業である。今年度の例会については会員と地域の交流と発見をテーマに開催地をできるだけ九州各県に広げていきたい。その街になにがあり、なにを語り、なにを食する等、交流を主体に例会をしたい。

・九州支部と1F1'95名古屋

今年度支部と「1F1'95名古屋」の基本構想が実務段階へと進んでいく。会議開催団体による実行委員会も11月頃には発足されとのこと、テーマ及びコンセプト、イメージの展開、会議の内容、そしてイベント、スケジュールを回を重ねて進行していく、まづ1F1を支部でどの様に取りえるか、まだまだ模索中です。基本的には支部会員が出来るだけ多く参加することを目標とする、展覧会等のイベントに参加する、本部からの依頼に答えることだと思っている。

展覧会については展覧会委員会（本部山口理事岩倉委員長）によって進めている日本の木の椅子展について、九州支部でも実行委員会を設けてその準備を進めていき、まず九州地区のて来年度あたり九州地域展として発表し'95名古屋展へと進め、本部委員会との連体として行っていくつもりである。

「IFI」からのお知らせ

IFIの近況

IFI（国際インテリアデザイナー連合）は、世界中のインテリアの専門家を代表する唯一の民間組織として、今年は創立30周年を迎える。IFIの会員、準会員、通信員、連絡員、スポンサー、協賛者等は5大陸のすべてに拡がっている。IFIは各国の全国組織が参加しており、その結果全世界の6万人を超える専門家の利益を代表する組織となっている。

大勢の献身的な会員が、機関誌出版、セミナー出席、集会や会議参加等を通じて、世界中にIFIのネットワークを築き上げて来た。現在IFIは目を外に向け、良いインテリア建築やインテリアデザインが本来どんな効用や利益をもたらすかについて、一般大衆の周知する活動を始めているが、これはIFI所属の専門家に一層良いサービスを提供することをねらったもの。今後の30年間には、IFIはグッドデザインを実践することがどれだけ重要か、すべての人々や彼らが所属している組織に対して更に啓蒙を図ることに焦点を合わせて行く。

世界は毎日ますます小さくなっており、市場は更に国際的になっているので、グローバルなネットワークの必要性や重要性は誰も疑わないところ。新しい年を迎え、IFIは国際的な争点や懸案事項に最も関連のある地域で組織の強化に全力をあげる予定。連日IFIは自由化された東欧の各国と連絡を取っている。南米、アフリカ、極東地域も関係強化の目標となっている。IFIが今焦点をあてている問題は多いが、そのうちの2つは規模の点で正にボーダーレスと言えるものだ。一つは環境問題であり、今一つは身障者や高齢者が抱える問題を軽減する為のデザインである。

目下、多くの先進国は不況で苦しんでいる。IFIは会費と参加効用の問題に取り組んでいる。IFIは非常に限ら

れた年間予算で運営されているが、常に予算の枠を越えたサービスを実施しようと努めている。1991年以来、IFIの理事会は組織体の参加に重点を置いて会費のとり方を変更し、それによって何とかインテリアの専門家個人からの収入を軽減しようとして来た。事実、IFIは近い将来収入を各国の全国組織に戻せるよう努力している。

1993年にIFIが挑戦する課題は3倍にふくれ上がる。

予算が限られているのでサービス改善努力はどれもまるで奇術に等しいものになる。上昇し続ける国際通信費用の為問題は更に悪化している。特定の地域問題が、地球規模の問題に取り組む国際的努力の足を引っ張る傾向もある。

インテリアのプロはこれまでに築き上げた実績を他の職種に冒されないように防御に努めることも必要だ。景気停滞は教育水準や建築予算に影響を与えるとともに、インテリアのプロに対してもあらゆる手段でグッドデザインの経費節減に努めるよう圧力がかかっている。グッドデザインとデザイン学の資格取得者に費用がかかっても、高品質の作品がえられることでコストを上回る成果が産み出されるのだと言うことを世論に仕立て上げるよう、IFIは大衆啓蒙と立法当局への働きかけに専念している。IFIは世界中の教育界との対話を続け、高度のデザイン水準を満足するために必要な教育水準が確保されるよう努力している。

現在目標達成の為IFIが立てている計画と行動の要点は以下のようなものだ。

①IFIニュースレターの編集様式を今年から一変する。

ニュースレターではインテリア職業に関する意見、情報をお待ちの方々からの投稿を歓迎している。内部に視点を向けた機関誌から脱却して、奥の深いものに成長するべく、IFI関係者には専門分野にふさわしい問題、或いは論議を呼んでいる問題を知らせ、IFIの外部の人たちにはインテリア専門家の関心事を知らせる事を役割とする。

次の四つのテーマに毎年繰り返し焦点を当てる：生態系問題、教育、専門実務、会員のニュース

②1993年9月スコットランド、グラスゴーにおいて開催予定のIFI年次総会で、IFI理事会は生態系問題綱領を提案し批准を求める予定。又同会議ではインテリア職に焦点を合わせた「緑のデザイン・チェックリスト」

がIFI会員に配布される予定で、非会員にも有料で提供される。

③IFIは身体障害者や高齢障害者の為のインテリアデザインに関し、データベースを構築するため現在情報を収集している。この面での国際的な努力を紹介する出版物が近く発行される予定。

④全世界の学生や立法当局により良い情報を提供する為に、IFIは9月の年次総会に合わせて国際（インテリアデザイン）学校案内の改訂版も出版する予定。

この案内は各国の全国協会を通じてIFIに登録されている学校だけでなく、コミュニケーションの機会を増し、調和と標準化に向けて行われている国際間の努力の一助となるように、今回初めて世界中のすべての学校を含めることになった。

⑤IFIはインテリアデザイン職種の重要性について認識が高まることを期して、現在多数の国際的なNGOと関係を樹立し、強化に努めている。このような関係を作り上げた結果、立法当局がIFIに意見を聞いてくる時役立つようなより良い情報を手に入れることが出来、影響力行使にも有効だ。「国際デザイン保護」は政府がIFIに諮問して来る問題のほんの一例だ。

⑥今年9月のグラスゴー年次総会期間中、IFI主催で「教育ラウンドテーブル」が開催される。著名なデザイン教育者が多数出席し、IFIが事後出版を保証しメディアへの露出も間違いないと言う環境の下で、デザイン教育のゴールについて当代の宣言を発表する機会となるだろう。

IFIは創立後30年を迎え、小さなヨーロッパの一組織から今や個々の専門家と各国の全国協会に幅広く利用される権威ある国際的な声にまで成長して来た。IFIは将来更にサービス内容を充実し、一層効率の高いコミュニケーションによりインテリアの職業人に貢献することを期している。

1993年2月

IFI事務局長

シンシア・ウィルソン

第20回国井喜太郎産業工芸賞を受賞して

中川千年

このたびの受賞は私にとってまったく思いがけない光栄でした。国井賞というものの由来や意味するもの、その重みについては過去歴年の受賞者の方々の輝かしい業績を通じて承知していましたので、当協会の会員をはじめ複数の方からのご推薦をいただいたときは実のところ大変戸惑いました。自分の過去を振り返って、こんな立派な賞に値するほどのことがあったらどうかという思いと、ともあれノミネートされるだけでも十分に名誉なことではないかという高揚した気持ちが交錯して混乱しました。しかし、今まで過去を振り返ることもなく惰性的に過ごしてきたことを反省して、自分史を作るつもりでこのあたりで身の辺の雑多な資料を整理することは家族のためにも必要ではないかと考え、またそうすることで推薦者のご厚志に応えることになればと思ってノミネートをお受けしたのです。それだけに今回の受賞はやはり分に過ぎるものという思いが残りますが、私にとっては、最高の栄誉であり、かつてない喜びです。ご推挙いただいた皆様に心から感謝しております。

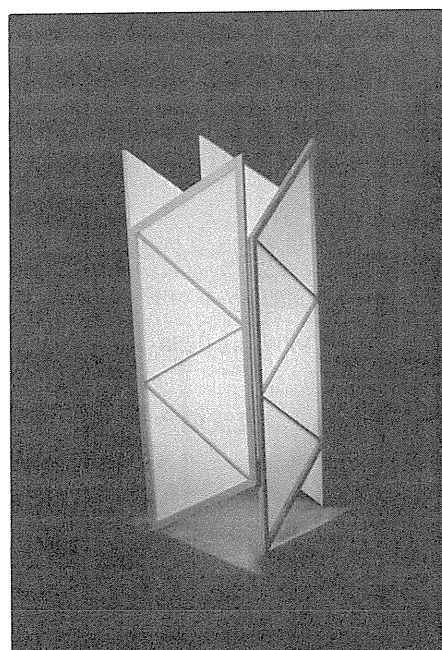
私は昭和20年代後半から11年間を熊本県、37年から7年間を山形県、43年からの22年間を大分県というふうに、地方公設の試験研究機関に勤務しデザイン研究やデザイン行政の立場でそれぞれの地域の地場産業にかかわってきました。平成2年3月に大分県を退職して第三セクターの地場産業振興センターに移りましたが、ここでの3年間もやはり過去の延長でデザイン振興が主な仕事でした。

振り返ってみますと、熊本時代はアメリカンインダストリアルデザインの導入期でもあり、下丸子にあった通産省産業工芸試験所でのデザイン研修はまことに新鮮で刺激的に感じたものです。山形時代には天童木工をはじめデザインマインドの高い数多くの企業との出会いがあって仕事の面では大変充実した時期だったように思います。当時隆盛をきわめた全国優良家具展のためのデザイン作業に明け暮れたことや、天童木工、コスガ、そのほかいろいろなデザインコンペに挑戦したことなどが思い出されますが、何よりもありがたいと思うのはこのようなことを通じて素晴らしい方々とめぐり会うことができたことです。今でも山形は私にとって心のふるさとのよ

うな存在です。大分に帰ってからはゼロからの出発でした。地域特性の見直しから始めていろいろなことに挑戦しました。特に杉の需要開発には執念深く取り組んだつもりですが十分満足できないままに職を去りました。

通算すると40年以上の歳月になりますが、それぞれのとき、それぞれの場で素晴らしい上司や先輩、友人など数え切れないほどの多くの人々との出会いを得たことに限りない幸せを感じています。国井賞の受賞はこのような方々の積年の支えによるものということを忘れずに、これからも＜地方デザインの道＞を力のある限り歩き続けたいと思っています。

(九州事業支部担当理事)



木と紙のあかり



JID九州展会場から

デザインコンペ1題と コンベンション2件

●'94GREEN DESIGNING

IN YAMAGATA

○主催 山形グリーンデザイン実行委員会

○応募登録締切 '93年11月30日必着

○募集テーマ

「グリーンデザイン」環境にやさしいデザイン」

○応募対象作品

プロダクト部門、グラフィック部門、ファッション
部門、アイディア部門（分野を問わず）

○賞

入 賞 グランプリ 1点（副賞150万円）

グリーンデザイン 3点（〃 50万円）

奨励賞 12点（〃 50万円）

入 選 最終審査の対象となった作品

○審査員 栗津 潔 ほか6名

○問合せ先

山形グリーンデザイン実行委員会事務局

〒990 山形市松波2-8-1 山形県商工政策課

Tel:0236-30-2360 Fax:0236-30-2128

●（財）国際デザイン交流協会

1)「国際デザイン・コンベンション'93-大阪」

開催日時 ; 平成5年7月29日（木）

午後1時30分～5時20分

開催場所 ; 大阪国際交流センター

テーマ ; 「デザインの新潮流」

講 師 ; アンジェロ・コルテージ氏（ICSID理事）

リチャード・リニントン（IFI会長）他

参加料 ; 一般 4000円

定 員 ; 200名

2)「国際デザイン・コンベンション'93-名古屋」

開催日時 ; 平成5年7月30日（金）

午後1時30分～7時30分

開催場所 ; ホテルキャッスルプラザ

開催内容 ;

テーマ 「名古屋からの発信を目指して～世界の

リーダーが語る”私とデザイン～」

パネリスト インタビュアー

アンジェロ・コルテージ氏（ICSID） 佐藤和子氏

フィリップ・ジャンティ氏（ICOGRADA） 麴谷 宏氏

リチャード・リニントン氏（IFI会長） 長岡貞夫氏

参加料 ; 一般 6000円

定 員 ; 150名

問合せ ; （財）国デ協・事業第2部（米沢）

Tel.06-346-2611 FAX 06-346-2615

通産省検デ室長人事異動

JIDの所掌官庁である通産省貿易検査デザイン行政室
長の人事異動が下記の通り発令された旨通知がありまし
た。

・平成5年5月14日付

室長 玉木 昭久

（前 地域振興整備公団企画調整課長）

前室長 宮崎 修二

大臣官房付

（敬称略）

関連団体の動き

関連団体のうち、下記の団体の理事長、会長等の異動
がありました。

●（社） 日本インダストリアルデザイナー 協会理事長
（3月25日付）

●（新） 木村一男 （前）鴨志田 厚子

●（財） 名古屋観光コンベンションビューロー事務局長
（4月1日付）

（新） 加藤 寿夫 （前）望月 健三

●（財） 国際デザイン交流協会会長
（5月4日付）

（新） 大西 正文 （前）佐治 敬三

●（社） 商業施設技術団体連合会会長
（5月27日付）

（新） 高村 英也 （前）村上 末吉

JIDから役員として副会長に片谷充克会員が、理
事に浅野盛治JID理事が就任されました。

●（社） 日本クラフトデザイン協会理事長
（5月30日付）

（新） 工藤 省治 （前）佐藤 信泰

（敬称略）

会員の消息

◇ 石 井 静 香

お元気でいらっしゃいますでしょう。

日頃大変お世話になっていますが、今頃赤道近くの中米コスタリカから突然にお便りしますことお許し下さいませ。

昨年10月末に日本を離れ、セントラルアメリカの小さな国コスタリカの首都サンホセに住んでいます。Costa Rica 豊かな海岸という意味を持つこの国は太平洋とカリブ海に囲まれた熱帯性のジャングルとスイスの様な美しい山岳地帯のある永世中立な国です。

一年中日本の春から初夏にかけての気候で色とりどりのトピカルな花が咲き乱れている、住むには快適な国です。福祉政策が非常にゆき届いていて、教育・医療 etc 無料で住宅政策も優れたもので、一般庶民が簡単に土地・住宅を入手することが出来ます。その上住宅環境は日本を大巾に上回る良さで、どちらが発展途上国なのか疑問に思っています。この国に到着して以来、カントリークラブの中にある自然環境豊かな2LDKのホテルに滞在しながら、住居探し、家具・生活用品購入等、生活ベース作りに時間を費していましたが、漸く落着き私の去年の夏以来忘れてしまっていたスパニッシュレッスンを再会し、ほっとしたところです。

友人に頼んでおいたインテリアデザイナーとのコンタクトも取れ、来週あたりあえるのではないかと楽しみにしています。この国もラテン特有のお酒と音楽とダンスが大好きな国民で夜はおそくまでよく遊びますが、夕方以降の女性の一人歩きはエスコートなしでは出来ませんのでそれが一寸残念なところです。せいぜい日本では数える程しか受けない男性からのリップサービスをたっぷり受けて、良い気分でday time の友人を見つけてenjoyしようと思っています。夜は勿論、品行方正に勉強と読書に明け暮れる予定です。唯、一人ぼっちで過ごす夜があまりにも長いので、JIDの中で筆マメな方がいらしたらレター一通いただければ、私の不幸な時間も幸せタイムになるのではと思います。

こちらでの滞在がほんの2~3ヶ月のつもりでいましたので、お知らせがこの様におそくなってしまいました。一応一年間の滞在になってしまったのですが、もう期

間も半ばになってしまい、さんざん迷った末にお便り差し上げた次第です。本当に事務局の皆様にはこの失礼深くお詫び申し上げます。JIDの皆様、お年賀をいただいた方々、申し訳ございませんでした。

私も一応落ち着きましたので、一寸遠い国なので（ヨーロッパに行く位）あまりお推めできませんが、アメリカでおヒマな時間が出来たら、是非お立ち寄りください。豪華客船によるカリビアンクルージング（695ドル）と、ホットスプリングツアー（流れる川の露天風呂）これはお推めです。

皆様のご健康とご活躍を心から希っています。

九月には、帰国いたしますので又お会い出来る日を楽しみにしています。

hasta la vista

Shizuka Ishii

11.april 1993 en Costa Rica

・8月末までの住所

Shizuka Ishii

Rokrmoser Edificio de ICE

Carretera a Pavas

100mts norte, 50mts oeste, y

75mts norte, San Jose.

Costa Rica, C.A.

・Tel & FAX （FAXはA4判1枚当地で300コロン）
001-506-20-44-60 1コロン=0.8円

（15時間の時差ですので日本時間 9:00~11:00がベストタイムです）

JID589 石井 静香

（関東）

◇ 梶 原 敏 生

この度、感謝状に加え結構な記念品をお送り頂き、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

大切に使用させていただきます。

今后共何かと御世話様になりますので宜しく御鞭撻をお願い申し上げます。

5月30日

（関東）

◇ 河 原 啓 介

去年27日の協会名誉会員の賞状授与式へご招へいをいただきながら、当方の理不尽な理由で出席いたせず、

折角の機会を逸し誠に残念でしたが、ここにご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

賞状は5月29日に記念品と共に確かに受領致しました。深く感謝申し上げます。今後はその立場に留意し、協会発展のために微力ながら尽くすことができればと願っております。

他方、小生この春より体調を損なっていましたが、医療に専念いたし、幸い徐々に回復に向かっております。他事ながらご休心ください。

いつれ機会を得て改めてご挨拶に伺いたいと思っております。まずは、お礼まで

6月2日

(関西)

◇ 吉 住 一 信

このたびは私の個展(5月18日～31日)とJID総会の日時が重なった為、折角お招き賜りました総会における贈賞式及びパーティに参列できませんでした。失礼の段、深くお詫び申し上げます。また、只今は、身にあまる立派な感謝状並びに記念品まで御送り頂きまして、誠に有難うございます。末筆ながら貴協会の皆様方の御健康並びに御健闘と益々の御発展とをお祈り申し上げます。

5月30日

(関東)

◇ 夏 原 晃 子

この春JID会員で高松にお住まいの大野明彦氏の御案内で丸亀市猪熊弦一郎現代美術館と高松市牟礼にあるイサムノグチのアトリエとゲストハウスを見学する機会を得ました。このあと猪熊弦一郎は91才の生涯を終えられたのですが、「画家猪熊弦一郎は彫刻家イサムノグチとの半世紀近い親交を“イサムとの交遊は深く、目から、口から、手から絶える事なく続き、日々深くなるばかりだった”と記している。この二人の作品を猪熊弦一郎のディスプレイによって見る事が出来たのは、画家の言葉通り“イサムの石が牟礼から丸亀に来て彼の目も、手もここに来て同じ時に並べる私の絵も悦びにふるえている”空気を吸いこんで時のたつのを忘れました。黒い大きな額縁のような正面は、劇場の中へ思わず身体が入っていくようであり。外観よりも広々とした展示室はよく考えられた採光展示物をなごやかに、しかも際だたせている。階段という立体の構成も展示空間をより豊かに空間を感

じさせる設計である。丁度昨夏ドイツの各地でみた小さな現代美術館にあるような、質のいいやすらぎと緊張がここにも見られる。しかもたいていの街では駅前デパートがあるような所に毅然と清潔に建っているのである。小ホールや子供のための実習室、美術を中心としたたっぷりと充実した図書館もあり、休日でもあったので親子づれも目立ち、親しめる場として市民の生活に入っているようである。」以上はJID関西発行の“エコー”に掲載された拙文の抜粋ですがこれに以下を加えます。

丸亀をあとに私達はタクシーに分乗して高松の四国村で美味しいうどんの中食をとり、牟礼のイサムノグチのアトリエに向かいました。牟礼はイサムノグチの晩年ともいえる時期からの創作の場であり、ここでの彼は今までより一層石との対話を深め自然と交感していた場でもあります。石の持つ厳然とした素材感と現代的手法の組み合わせられたゲストハウスは非常にユニークです。ここを訪れる人々は彼と石との対話をより近く感じているのではないのでしょうか。又、作家が牟礼での住居としていた農家の骨太い木材や厚い壁と、彼の創る石の組合せは、日本庭園の思想を空間概念として学び受けとめた作家が、人間の行為を通して、時間、空間、感情や記憶にも深い深求を行なった事が理解されます。

自身の墓に、とも云われる巨石のある小山も、屋外の一見無造作に見えるアトリエの石達は、完成、未完成のものもお互いにある緊張とやすらぎをもって宇宙に語りかけているようです。

20世紀を生き抜いたといえるこの二人の多彩な、インターナショナルで地球的な芸術家の仕事を通して、二ヶ所の空間での時間を持つ事が出来たのはほんとに有意義であったと思います。

(関西)



リクルート情報

◇設計デザインSTAFF募集

○職種／建設意匠設計・インテリアデザイン・プロダクトデザイン

○資格／特になし

○給与、待遇、勤務時間、休日休暇等条件に関しては直接、会員の中根大治さんへお願いいたします

(株)三輪環境計画 担当 中根大治

〒141 東京都品川区上大崎2-8-19

Tel 03-3442-6092 FAX 03-3442-6392

◇デザイナー・アドバイザーの募集

国際家具展（1993年11月18日～21日）での ECパビリオンに EC圏内の約110メーカーが出展します。

このEC家具の連合会事務局＝フランス家具産業連合＝が日本での販売促進や、今回の展示会でのディスプレイ（日本の生活環境、生活習慣、所謂文化的背景）について各出展メーカーに対して具体的なデザイン、又はアドバイスが可能なインテリアデザイナー（海外家具をデザインや設計に生かした経験のあるデザイナー）をさがしています。

協力可能なスタジオ、または個人のエントリーをお願いします。

英文にて、簡潔な自己紹介など、住所・FAX・TEL等をFAXにてJID事務局にお知らせください。名簿一覧表を先方ECの事務局に送ります。

ECメーカーからデザイナーに連絡が入り、詳しい内容、等は直接交渉になります。

エントリー期間は7月末日 なるべく早くリストを欲しがっています。

関西事業支部 須川武博

TEL.06-245-3168 FAX.06-245-3832 よろしく

(株) 龍村美術織物

〒103 東京都中央区日本橋 2-2-20

TEL 03-3274-2274 FAX 03-3281-7975

川嶋 利行（課長東京店）

株式会社 ダニエル

〒220 横浜市西区岡野 2-17-18

TEL 045-311-4001 FAX 045-314-9631

久保 雅俊（営業統括本部 ハウジング担当 主任）

チトセ株式会社

本社 〒578 東大阪市玉串町 2-1-1

東京本社 〒105 東京都港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル 8F

TEL 03-3503-6066(代) FAX 03-3592-6848

宮本 頼夫（東京本社 販売推進部）

学校法人中央工学校

中央実務専門学校

〒560 大阪府豊中市寺内1丁目 1-43

TEL 06-866-0800 FAX 03-866-1616

田中 隆（教 頭）

中央設備エンジニアリング(株)

〒450 名古屋市中村区名駅 1-2-4 名鉄バスターミナルビル

TEL 052-582-8201 FAX 052-582-8230

東京本店 TEL 03-3661-8551 大阪支店 TEL 06-251-841

平田 謙（名古屋本社 インテリア部 部長）加藤 邦夫（東京本店 インテリア部 部長）

株式会社テキスタイル飯田

本社ショールーム 〒151 東京都渋谷区元代々木町 1-1

TEL 03-3465-5001 FAX 03-3465-5055

大阪支店 TEL 06-228-0073

飯田 安子（代表取締役）

立川ブラインド工業(株)

〒105 東京都港区海岸 1-11-1

ニューピア竹芝ノースタワー

TEL 03-5404-4500 FAX 03-5401-1036

阿 部（経営企画室販促課）

(株) 天 童 木 工

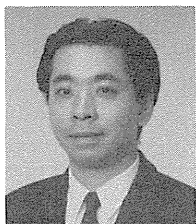
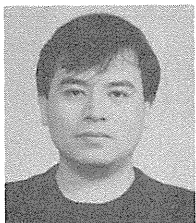
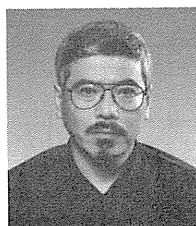
本社・工場 〒994 山形県天童市大字乱川 810 TEL 0236-53-3121

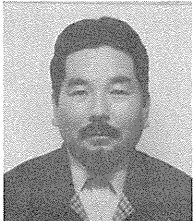
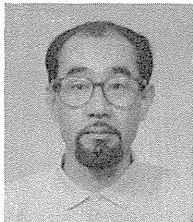
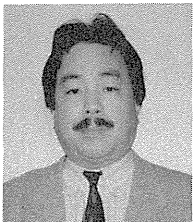
東京支店 〒105 東京都港区浜松町 1-19-2 TEL 03-3432-0401

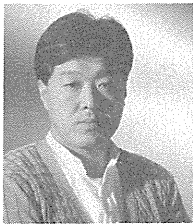
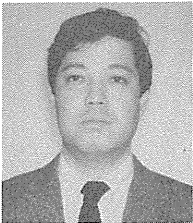
桜井 久喜（営業本部 課長）

新入会員の紹介

●正会員

会員名及び番号		住 所 及 電 話
み わ ひで お 三 輪 英 生 会員番号1034 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) インターデコール 渋谷区富ヶ谷1-9-5 FTビル1F 〒151 TEL 03-3485-5037 FAX 03-3485-5003 杉並区永福4-14-17 〒168 TEL 03-3321-6400 宮城 由紀子 ・ 山本 其観代
ホン ター レン 洪 達 仁 会員番号1035 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	達大居空事業股份有限公司 (DARREN ARTS CO,Ltd.) 台湾省台北市復興南路 1 段283号4F TEL 02-701-5913 FAX 02-703-9803 台湾省台北市臨沂街25巷15号1F TEL 02-709-8416 FAX 02-395-1300 栢原 秀榮 ・ 山田 健一郎
はや かわ ま り 早 川 満 利 会員番号1036 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ベックス 大阪市西区靱本町 1 丁目14-11 靱本町高田ビル 401号 〒550 TEL 06-441-1701 FAX 06-441-1702 大阪府池田市建石町8-12 〒563 TEL 0727-52-7582 山口 道夫 ・ 須川 武博
まつ もと のり みつ 松 本 全 三 会員番号1037 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) アール・ビー都市建築設計 東京都品川区西五反田8-3-6 TK 五反田ビル8F 〒141 TEL 03-3495-1661 FAX 03-3495-2644 静岡県裾野市茶畑94-1 A-102 〒410-11 TEL 0559-93-2709 飯嶋 房樹 ・ 藤江 健

お ざわ もり お 小 澤 盛 男 会員番号1038 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)日立製作所 デザイン研究所 東京都国分寺市東恋ヶ窪1-280 〒185 TEL 0423-22-1111 内線 5125 FAX 0423-27-7799 埼玉県新座市新堀1-7-15 〒352 TEL・FAX 0424-75-4087 山口 道夫 ・ 栢原 秀榮
か とう つとむ 加 藤 力 会員番号1039 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	京都工芸繊維大学 工芸学部 造形工学科 京都府京都市左京区松ヶ崎 〒606 TEL 075-724-7644 FAX 075-724-7605 滋賀県大津市御陵町1-36 別所合同宿舎814 TEL 0775-24-5351 栢原 秀榮 ・ 金子 誠之助
たか はま よう こ 高 濱 洋 子 会員番号1040 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	フリー 熊本県熊本市秋津町秋田3438-33 〒861-21 TEL 096-365-5270 FAX 096-368-6276 村田 良憲 ・ 酒井 博幸
まつ もと かん いち 松 本 研 一 会員番号1041 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	相模女子大学 短期大学部 家政科 生活造形専攻 デザイン研究室 神奈川県相模原市文京2-1-1 〒228 TEL 0427-42-1411 内線 373 東京都町田市山崎町996-60 〒195 TEL 0427-93-2662 泉 修二 ・ 川上 信二
あん どう しん ご 安 藤 真 吾 会員番号1042 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	関西ビジネスインフォメーション(株) 大阪府大阪市中央区備後町3-6-14 〒541 TEL 06-266-8945 FAX 06-262-7202 大阪府高槻市別所本町19-19 〒569 TEL 0726-83-2382 清家 淳一 ・ 山田 健一郎

えび な のり ゆき 蛸 名 紀 之 会員番号1043 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	PRIME DESIGN OFFICE 北海道旭川市神楽岡12-7 ホワイトハイム102 〒078 TEL・FAX 0166-66-1535 北海道上川郡美瑛町本町2丁目6-5 〒071-02 TEL -0166-92-1089 山中 良子 ・ 石黒 正範
すず き さち お 鈴 木 幸 生 会員番号1044 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	スタジオ-40（フォーティー） 神戸市中央区中町3丁目1-8 ライオンズステーションプラザ神戸306 〒650 TEL 078-361-7443 FAX 078-361-7449 神戸市西区高雄台28-37 〒651-22 TEL 078-995-0192 山口 道夫 ・ 山崎 晶
ほり きり ゆう こ 堀 切 裕 子 会員番号1045 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	（有）堀切設計 千葉市美浜区高洲1-14-2-104 〒261 TEL・FAX 043-277-6044 同上 長岡 貞夫 ・ 小玉 靖子

●賛助会員

会員名		住所・電話及び担当者
デントン・コーカー・ マーシャル・ジャパン株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	東京都目黒区青葉台2-3-1 杉ビル5F 〒153 TEL 5473-0580 FAX 5478-0585 代表取締役 リチャード・エヌ・ハレス 事務局扱い
株式会社 アズ	住 所 担 当 者 紹 介 者	福岡県福岡市博多区東光1丁目4-8 〒812 TEL 092-451-7288 FAX 092-451-1906 常務取締役 山崎 真司 中川 千年

株式会社 ア ダ ル	住 所	福岡県福岡市博多区金隅47-1 〒816 TEL 092-504-3932 (代) FAX 092-504-3928
	担 当 者	企画部長 高山 和幸
	紹 介 者	中川 千年
株式会社 横浜高島屋 建装部	住 所	横浜市西区南幸1-6-31 TEL 045-312-1316 FAX 045-316-5890
	担 当 者	高橋 公明
	紹 介 者	高橋 公明

(株)デンタルインテリアメイク

〒160 東京都新宿区三栄町 9 第3米世ビル2F
TEL 03-3355-4144 FAX 03-3355-4146
新井 章 (代表取締役)

(株) 東 京 書 藝 館

東京インテリアアカデミー TEL 03-3320-0621
東京都渋谷区代々木 1-27-13 FAX 03-3320-1738
通学部：渋谷区代々木 1-30-6 U1ビル 2F
前田 純志 (東京コーディネータースクエア 指導部部长)

デントン・コーカー・ マーシャル・ジャパン(株)

〒153 東京都目黒区青葉台 2-3-1 杉ビル5F
TEL 03-5458-0580 FAX 03-5458-0585
リチャード・エヌ・ハレス (代表取締役)

東 京 シ ン コ ー ル (株)

〒114 東京都北区豊島 8-4-1
TEL 03-3927-7012
中根 修 (企画部 部長)

(株) ト ー ア

〒557 大阪市西成区旭 3-3-9
TEL 06-561-0212 FAX 06-568-2440
斉 藤 (総務部 課長)

(株)東京デザインセンター

〒141 東京都品川区東五反田 5-25-19
TEL 03-3445-1121(代) FAX 03-3445-1125
船曳 鴻紅 (副社長)

東 京 ガ ス (株)

〒105 東京都港区海岸 1-5-20
TEL 03-3433-2111
安東 清喬 (生活デザインプロジェクトチーム 部長)

学校法人専門学校

東京デザイナー学院 名古屋校

〒460 名古屋市中区栄 5-1-3
TEL 052-262-0687

会 員 の 異 動

※会員名簿平成三年・四年版をもとに書いてあります。

会 員 名	異 動 事 項	新
伊藤 博昭 (関東 会員番号988)	自宅移転	世田谷区玉川3-9-7 ヴェルウッド玉川201 〒158
今井 壽志 (関東 P63)	勤務先	システム オー デザイン アソシエイツ 目黒区上目黒3-36-27 〒153 TEL 03-5721-2340 FAX 03-5721-2339
岩倉 榮利 (関東 P64)	事務所移転	(株)岩倉榮利造形開発研究所 渋谷区恵比寿西1-32-29-201 〒150 TEL 03-3770-1400 FAX 03-3770-1402
小林 清泰 (関東 P102)	事務所名称 移転	株式会社 ケノス 渋谷区広尾5-19-17 広尾GTビル5F 〒150 TEL 03-3447-4501 FAX 03-3447-4503
佐々木 信吾 (関東 P108)	事務所名称 移転	(株)ディーエヌピースペースデザイン 新宿区若松町33-8 アールビル新宿 〒162 TEL 03-5273-6281(代) FAX 03-5273-6290
鈴木 佳寿美 (関東 P119)	事務所名称	サンク室内設計株式会社
高石 芳子 (関東 会員番号978)	事務所移転	豊島区南池袋1-16-22 西武流通事務館内 〒171 TEL 03-3987-8308
但田孝義 (関東 P133)	所属	松坂屋 東京建装事業部 設計課 TEL 03-3832-2061(直) FAX 03-3832-5716
西澤 圭三 (関東 P150)	事務所FAX	FAX 0492-69-1783

宮川 恵子 (関東 会員番号1026)	自宅・事務所移転	豊島区高田2-12-21-503 〒171
吉住 一信 (関東 P135)	自宅移転	静岡県伊東市川奈1228-35 村上コーポ1-B 〒414
李 泰久 (関東 P199)	事務所移転	目黒区上目黒3-36-27 〒153 TEL 5721-2340 FAX 5721-2339
北出 光弘 (中部 P221)	事務所移転	三重県松坂市久保町1776-3
池上 俊郎 (関西 P244)	勤務先	京都市立芸術大学 美術学部 デザイン科 環境デザイン研究室 京都市西京区大枝沓掛町13-6 〒610-11 TEL 075-332-0701 FAX 075-332-0709
金子 誠之助 (関西 P253)	事務所開設	金子インテリアデザイン室 堺市引野町2丁28-4 〒591 TEL 0722-85-5591
福岡 喜久雄 (関西 P272)	事務所名称	アークシーズ株式会社 大阪市中央区西心斎橋1-15-7 心斎橋アサノビル 〒542 TEL 06-244-0070 FAX 06-244-0071
日本 インターフェイス ヒューガ株式会社 (賛助 P355)	担当者役職	営業開発 部長
株式会社 三越 (賛助 P333)	担当者	石野 匡宏

●事務局短信

- ①今年の梅雨は陽性のようで、雲の合間から真夏のような太陽が照りつけ汗ばむ陽気ですが、梅雨明け間際の集中豪雨が心配されます。第25回通常総会も会員各位のご理解ご協力を得て無事終了、今後はIFI'95をはじめ新年度の事業がいよいよ本格的に展開されます。本支部各委員会活動に積極的にご参加ご協力の程お願いいたします。
- ②新会員名簿（平成5・6年版）がお手元にとどいたことと思います。今回から体裁や内容をリニューアルしたことにより、発行が予定より1ヶ月遅れ申し訳ありませんでした。また、不透明な経済環境の中、広告掲載にご協力下さった賛助会員各位に厚くお礼申し上げます。
- ③先日ご案内したグラスゴーツアーの締切が間近です。

申し込みが済んでいない方は、大至急お申し込み下さい。今後の情報は、ご希望の方のみとなりますのでお早目に事務局にお申し出願います。近日中にツアー別に参加者の説明会を開催する予定です。

④JIDニュース4月号は、総会関係の準備や名簿の校正などで追われ、欠号とさせていただきます。悪しからずご了承下さい。

また、本5・6号の発送が7月にずれこみ執筆者並に全員各位にご迷惑をおかけしましたことを併せてお詫びいたします。

⑤本部事務局夏季休暇

下記の通りです。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

8月11日(水)～13(金) 3日間

ト ー ソ ー (株)

〒104 東京都中央区新川 1-4-9 TEL 03-3552-1211(代)
ウィックステーション/セントロ
東京都港区赤坂 7-10-17 TEL 03-5561-0566
大谷 文行 (常務取締役商品開発本部長)

学校法人専門学校

東 洋 美 術 学 校

〒162 東京都新宿区富久町 2-6
TEL 03-3359-7421 FAX 03-3359-4747
三井 誠(学務長)

東 陶 機 器 (株)

本 社 〒802 北九州市小倉北区中島 2-1-1 TEL 093-951-2111
デザイン部 〒253 神奈川県茅ヶ崎市本村 2-8-1 TEL 0467-54-3316
T O T O ス ー パ ー ス ペ ー ス TEL 03-3345-1010
東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー26・27F
山本 公吉 (デザイン企画室 室長)

東 リ 株 式 会 社

〒105 東京都港区虎ノ門 1-12-15
TEL 03-3503-6961 FAX 03-3593-9451
東京ショールーム TEL 03-5421-3711
牧田 行敏 (東日本営業開発部 課長)

学校法人東北文化学園

東北工科情報専門学校

〒981 宮城県仙台市青葉区国見 6-45-16
TEL 022-233-3330 FAX 022-233-8375
伊藤 功啓 (インテリア科長)

トキワ工業株式会社

〒140 東京都品川区東品川 3-18-11
本社 大阪 工場 大阪・大垣
ショールーム 東京 TEL 03-3472-3001
小野川 茂 (東京営業部課長)

1993/5・6

1993年6月20日発行

(社団法人日本インテリアデザイナー協会月報1991年通巻第176号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局

印刷所・株式会社 ユリクリエイト

東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂T&Kビル3F

TEL03-5704-3421

FAX 03-5704-3423

振替・東京 8-76389